



## コロナ医療 病院間の連携・財政支援が力ぎ

変異株の感染拡大・リバウンドの兆しも見られる中、医療現場の協力を得て万全の体制を整えなければなりません。第3波で最も病床がひっ迫したのは、2月9日（病床稼働率73.5%、入院患者823人／病床数1,119）でした。県では、地域の医療連携を充実するため、以下の事業を進めています。

### 新年度の主な事業

#### 新規【自宅療養者の外来・往診体制の整備 1億2,000万円】

自宅療養者の病状が悪化した場合、保健所の判断で外来診療や往診を依頼（外来診療や往診：5万円／件、夜間休日の場合は10万円／件の協力金支給）

【新規】ワクチン接種体制の確保 1億1,000万円  
優先接種となる医療従事者等への体制整備、副反応等専門相談窓口の設置

後方支援医療機関の確保 財源は診療報酬の加算  
コロナ回復者の転院調整をスタート  
94病院 177床（3/18現在）

休日・夜間輪番体制の整備 9,800万円  
協力医療機関 23病院（3/18現在／非公表）

臨時医療施設の開設 30億円  
「病床確保計画フェーズ4」ひっ迫時受入（県立がんセンターで最大66床）

患者受入協力金 28億8,000万円  
入院患者1人あたり50万円

感染症患者受入のための空床確保等 234億1,000万円  
重症度に応じて  
1床あたり16,000円／日～436,000円／日

軽症者等のための宿泊施設確保 47億700万円  
ホテル療養1,400室を想定（令和3年9月まで借上げ）

自宅療養者支援 1億6,570万円  
配食サービスの実施、健康観察アプリの活用

## 新年度予算 道路事業

県道宗吾酒々井線歩道整備  
(現在の用地取得 約2割)



1/15 整備中

3/12 一部が完了しました

県道富里酒々井線（酒々井町 墨）道路改良  
歩道整備（現在の用地取得 約3割）



広げたい

## 有機の里づくり 有機農産物の給食



最近、オーガニック野菜が店頭に並ぶようになってきました。農薬や化学肥料を使わない有機農産物のメリットは、身体への安全面ばかりではありません。環境や生態系に負荷をかけないため、地球温暖化防止や生物多様性保全等、グローバルな政策課題の解決にもつながります。すでにヨーロッパでは有機農業を積極的に推進しています。

### 第3次千葉県有機農業推進計画 目標

	現状(2018)	目標(2030)	参考(国)
有機農業の取り組み面積	798ha	1,200ha	63,000ha
有機農業者数	297人	480人	36,000人
週1回以上有機農産物を利用する消費者の割合	10%	12%	25%
国際水準の有機農業に関する研修を受講し、農業者に指導及び助言できる指導員数(累計)	—	20人	—

千葉県資料より抜粋  
今年1月、千葉県は第3次有機農業推進計画を策定し目標を立てました。すでに佐倉市や山武市の有機農家が全国の有機農業をリードし、いすみ市や木更津市では行政が熱心に有機の里づくりを進めています。

2/15いすみ市を訪問し、有機農業を通じて里山・里海の自然環境の保全・再生を行い、地域活性化につなげている実践について学びました。地域と行政の協働で有機農業を戦略的に広げ、全小中学校における有機米「いすみっこ」給食の実施、地域ブランド化、移住促進等々、さまざまな波及効果が生まれています。

いすみ市での取組みと佐倉市農政課への調査を踏まえ、予算委員会で有機農業の推進政策について取りあげました。

### 入江あき子事務所

〒285-0846 佐倉市上志津1621-8(2階)

電話 / 043-420-8758

fax / 043-420-8759

mail/groundwater.sakura@gmail.com

詳しくはこちらをご覧ください

入江あき子サイト URL/ <https://irieakiko.jp/>

いのちと暮らし、守り抜く

#### 主な質疑

入江 有機JAS認証など国際水準の有機農業を指導・助言できる指導員の育成が必要だが?

県 国や民間等の専門研修会を受講させ、2030年度までに20名の普及指導員を育成する。

入江 消費拡大に向けて消費者の理解をどのように広げるのか?

県 学校給食を通じた食育活動や消費者と生産者の交流を進める。



2/15 いすみ市を訪問

入江 第3次計画推進に向けて、県内自治体とどのように連携するのか?

県 自治体同士の交流や連携を促すネットワークづくりを進める。



2/17 予算委員会



12/21 千葉県農林総合センター視察



1/18 コロナ対策緊急要望書を会派で提出



11/10 ごみ不法投棄現場調査（直弥地区）→3/12 現地確認

改善しました



2/21 立憲民主党女性議員団でホワイトアクション

#### プロフィール

1965年

宮城県仙台市生まれ

1988年

国際基督教大学(ICU)

教養学部社会科学科卒業

2003年4月～

佐倉市議会議員

2011年4月～

千葉県議会議員

#### 2019年4月～現在

千葉県議会議員3期目

健康福祉常任委員会委員

議会運営委員会委員

会派「立憲民主・千葉民主の会」政策調査会副会長

立憲民主党千葉県連 組織委員長

連合千葉議員団会議所属

千葉県地方自治研究センター所属

千葉県議会地震・津波対策議員連盟所属

千葉県議会資源エネルギー問題懇話会所属

千葉県フリースクール等教育機会確保議員連盟所属

全国災害ボランティア議員連盟所属

予算委員会で取り上げました

活動報告